

施政方針

2025(令和7)年度



3月議会定例会開会日に来年度の施政方針を説明する関貫市長

2月28日、令和7年第2回豊岡市議会定例会で、関貫市長が2025(令和7)年度の本市のまちづくりと市政運営に対する基本的な考え方を表明しました。

なお、施政方針を含む市長総括説明の全文は、市ホームページをご覧ください。



「豊岡に住んでよかった」と言えるまでに

驚く数字を目の当たりにしました。昨年の本市の出生数(355人)です。合併した20年前の約半分。少子化は予測以上に進んでいると感じます。遠からず、これまでのような行政サービスを提供できなくなることも予想されます。「小さくても大きなパワー」がある、市民誰一人取り残さない市役所にならなければならないと考えます。

そのために大きな力となる一つは、DXの推進です。これまでやっていたことを一度立ち止まり、これからの時代に合ったやり方に変えていく。市民の皆さんが、住んでよかったと言えるまちになることを目指し、足元を固め、市民の皆さんの平穏な明日につながる市政推進と行動をしなければならないと強く思います。

「小さくても大きなパワーの市役所」を目指して

コロナ禍のワクチン接種の始まりの時です。市役所全体のチームワークの未熟さ、組織力の脆弱性を強く感じ「新型コロナワクチン接種推進室」を設置したのが、私の一番目の仕事でした。

県が打ち出した豊岡聴覚・出石の両特別支援学校の出石への統合に、利用者から強い反対要望が。それを受けて知事とやり取りし、旧豊岡南高校跡地での統合新設に変更となりました。

※市の各部署の「問合せ」「申込み先」は、4月1日以降の新しい課名を記載しています。

医療的ケアが必要な子どもたちの受入れ施設に関しても、県からの協力が引き続き得られ、民間事業者による開設が現実となりました。

小学3年生までの医療費の無料化は、財政状況を見極めながら、着実に実現してきました。

同時に市役所内部の改革も続けています。住民サービスの向上、申請手続きのオンライン化、組織間の横展開の強化等、今後も「小さくても大きなパワーの市役所」を目指していきます。

産業・経済振興への支援

産業・経済振興へも引き続き力を注いでいきます。行政として、外部からの豊岡への人的・経済的投資を引き込む役割を果たしてきました。現在、複数のプロジェクトが動こうとしています。

市民の市民による市民のための市政

15年後の2040年、高齢者割合のピーク、労働人口の急減、介護人材の需給ギャップの拡大、インフラの老朽化は待たなしにやってきます。来年度は、次の地方創生総合戦略策定の年となります。分かりやすく、現実的な課題解決戦略を策定し、一步一步着実に「持続するまち」「住んでよかったと言えるまち」に「市民の市民による市民のための市政」を進めていきます。

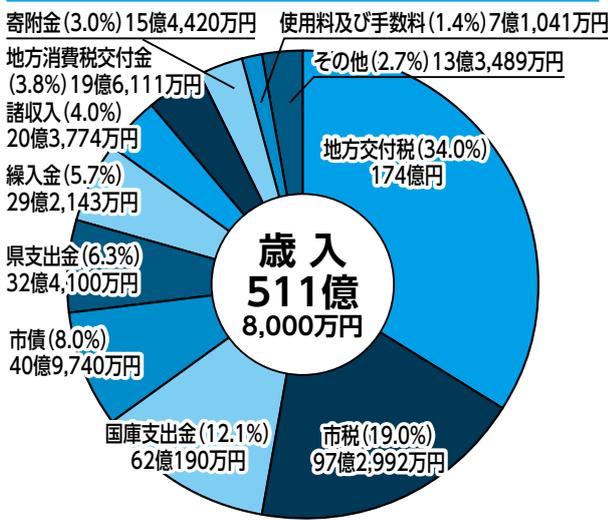
市制 20 周年 変わる豊岡 2025年度 予算案

一般会計予算は511億8,000万円、6.1%の増

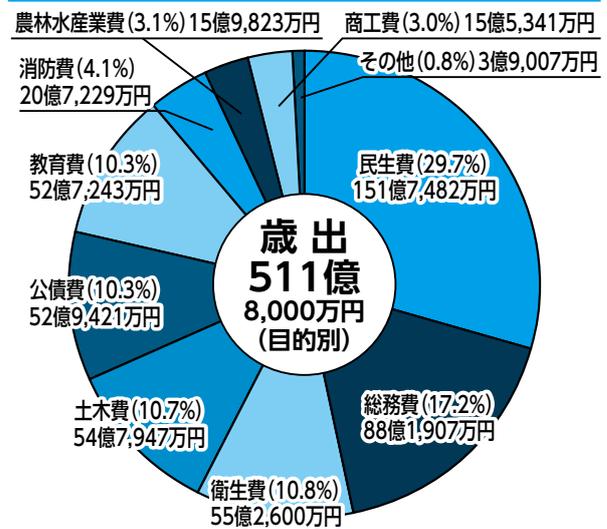
2025年度予算は①市民の日々の暮らしを着実に支え続ける②「小さな世界都市-Local&Global City-」に向けて③災害に備えたまちづくり④力強い地域経済の構築⑤未来を拓くこども・子育て世帯への支援拡大⑥持続可能な行政サービスに向けた財務体質の確立-を基本姿勢として編成、市の一般会計は総額511億8,000万円、前年度当初予算と比較して6.1%の増としました。

《問合せ》財政課 ☎21-9014

歳入の内訳



歳出の内訳



児童手当等に充てるため国庫支出金10億円の増

地方交付税は、人件費分の増額等を見込んで4億7,000万円(2.8%)の増、また市税は3億8,989万円(4.2%)の増としました。児童手当等に充てるため、国庫支出金は10億4,383万円(20.2%)の増としています。

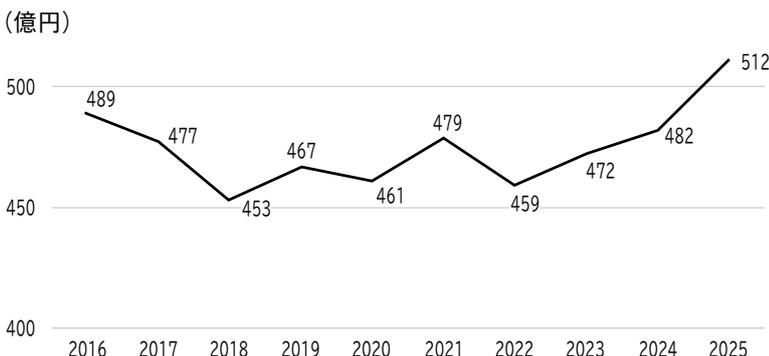
なお、市政推進のため必要不可欠な事業予算を計上しましたが、歳出に見合う財源が不足したため、財政調整基金から15億円を取り崩し、収支均衡を図っています。

道の駅「神鍋高原」の整備等に伴い商工費が4.1億円の増

総務費は、基金管理費等の増加により16億2,029万円(22.5%)の増、商工費は、道の駅「神鍋高原」整備事業費等の増加により4億1,744万円(36.7%)の増としました。

一方、教育費は、新文化会館整備事業等の減額により、8億81万円(13.2%)の減、公債費は、市債元金等の減額により4億893万円(7.2%)の減としました。

一般会計当初予算の推移(過去10年間)



過去10年間では、2021年度にWACCU TOYOOKA整備等により増加、22年度は減額になりましたが、23年度は新文化会館整備等、24年度は竹野学園整備等、25年度はウェルストーク豊岡等公共施設の長寿命化改修等により3年連続増加し、500億円の台を越えました。

※本紙に掲載している情報は編集時点(3月15日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。